

第七十回古民家歴史部会歴史探訪のご案内

平成24年8月15日

古民家歴史部会 木島・原本

前回は、平成24年度企画「横浜、西区・中区・磯子区の今昔探訪」の3回目としまして、「船渠建基碑・汽船道・新港埠頭」を探訪しました。

今回は、「横浜事始め、その1・馬車道・県立歴史博物館」を探訪します。ご期待ください。

記

日 時 平成24年9月6日（木）（今回も雨天決行します）。

集合場所時間 JR根岸線「関内駅」北改札口（横浜寄り）9:50 同時出発。

参加資格 本郷ふじやま公園傷害保険適用のため登録会員に限ります。

用意する物 前回に続き町中を歩きます。交通安全にご注意下さい。

行 程 「関内駅」→吉田橋→かねの橋→プラントンと横浜→近代街路樹発祥の地→横浜指路教会→牛馬飲水槽→アイスクリーム記念碑馬車道駅→日本写真開祖の碑→日本興亜損害保険→横浜銀行本店別館→横浜市第二合同庁舎→県立歴史博物館・解散場所→「馬車道駅」「関内駅」。

○食事場所；解散後昼食自由行動。

以上

7/19(木) 家57:38 図7:44 バス57:46(乗) → 港南駅 8:08 電58:08 → 磯子駅 8:18 港南駅 JR磯子駅 8:35(待)
58:45 (8:18 港南駅 JR磯子駅 8:35(待))

第七十回「本郷ふじやま公園古民家歴史部会」歴史探訪 横浜、西区・中区・磯子区の今昔探訪

古民家歴史部会員 原本

9/6(木) 本番 家57:50 - 図7:52 - バス57:55(乗)
晴 JR関内駅北口 8:45(待) 後「V」9月6日(木) 横浜事始め、その1・馬車道・県立歴史博物館

本番参加 20名

集合；JR 根岸線「関内駅」北改札口9；50厳守同時出発

行程；関内駅→吉田橋→かねの橋→プラントンと横浜→近代街路樹発祥の地→横浜指路教会
→牛馬飲水槽→アイスクリーム記念碑馬車道駅→日本写真の開祖の碑→日本興亜損害
保険→横浜銀行本店別館→横浜市第二合同庁舎→県立歴史博物館・解散場所→「関内
駅」。

食事場所：「」・TEL045——。

本番⑤ 9:50
8:49~50 | 9:55~57

1・吉田橋関門跡、



吉田橋は吉田新田、戸部、神奈川と居留地とを結ぶ重要な橋であった。この橋をはさんで
港の方を関内と呼び、伊勢佐木町側を関外と言った。それは開港後、外国人の取締りや保護
の為に幕府が吉田橋などに関門を設置していたからである。関門は1859年(安政6)に
子安、台町、芝生、石崎、暗闇坂、吉田橋の六ヶ所と 宮の河岸渡船場に設けられた。

関門は一種の関所で、通行人、荷物改めを行った。吉田橋関門は初め関内側に有ったが、
後に関外の外の方に番所が移された。この吉田橋は1869年(明治2)にイギリス人技師
プラントンによって日本最初の鉄の橋となり、横浜の文明開化の象徴として全国に知られた。

① 8:54 | 9:57~58

2・かねの橋(鉄橋は長崎のくろがねばし、が最初だが、吉田橋は2番目・但し、トラスト構造
では一番)

明治2年・長さ23.6m・幅9.1m・の日本最初の鉄橋で通行料(橋銭・カネ)を取
った処から、鉄(かね)の橋と呼ばれた。



3・プラントン(リチャード・ヘンリー・プラントン)と横浜

1868年(慶応3)政府の招きにより来日した英国人土木技師です。碑にはプラントン
が携わった数々の横浜の町造りに付いて記載されている。

② 9:00 | 10:07~08

4・近代街路樹発祥の地

1867年(慶応3)頃、開港場横浜の馬車道各、商店により街路樹が植えられ、此が日

本の近代的街路樹の先駆と言われている。

⑤ 8:57 | 19:02~19:03
5・横浜指路教会

1874年(明治7)創立のプロテスタント長老派の教会。

⑥ 9:04~06. | 10:14
6・牛馬飲水槽 横浜博覧場

1917年(大正6)当時の陸上交通の主力は牛馬で、牛馬の為に設けた、途中休憩所の飲水槽。

⑦ 太陽の母子 9:07 | 10:10~11
7・アイスクリーム記念碑

開港直後からボストン氷が輸入されていたが、記録上で確かなのは、1865年(慶応元)5月にリズレーが天津(天津)氷を輸入し、アイス・クリーム・サロンを開いたのが最初。明治2年町田房造が「氷水店」を開店。「アイスクリン」を売り出した。この店のあった辺りに、現在アイスクリーム発祥の地を記念して「太陽の母子像」が置かれている。

⑧ 9:10 | 10:15~17
8・日本最初のガス灯

明治5年馬車道、本町通りに日本最初のガス灯の火が灯った。「西洋の魔法」として浜っ子を驚かせ評判を呼んだ。このガス灯を作った日本最初のガス会社跡の中区本町小学校校門前には「ガス事業発祥の地」の記念碑と再現されたガス灯が立っている。ガス灯建設計画は慶応年間に遡るが、明治3年に本格化する。高島嘉右衛門のガス会社は、技師ブレグランの指導のもと、伊勢山下に工場を建設、1872年(明治5)9月29日、大江橋から馬車道、

⑨ 本町通りにかけて、日本最初のガス灯の火が灯った。 10:22~23
9・日本写真の開祖の碑 9:14 相生馬車道本店 10:26

下岡蓮杖(シモカレンヂョウ)は下田で修行中、外国人より写真技術を深め、1872年(文久2)開業した日本最初の写真家で。明治元年、今の中区弁天町通りで写真館を開業成功したと伝えられます。 県立歴史博物館 10:25 次頁

⑩ 11
10・日本興亜損害保険馬車道ビル(大正11年1922川崎銀行横浜支店)外壁保存

⑪ 9:15
11・旧富士銀行横浜支店(横浜銀行本店別館、東京藝術大学院映像研究科・馬車道校舎)

昭和4年(1929)第一銀行横浜支店として建てられたもの。設計者は西村好時(ヨシトキ)。みなとみらい地区に横浜銀行本店新築の際旧本店が取り壊しとなった際に、ファサード部分

のバルコニー（4本の円頭に飾りのないトスカナ式円柱でかこまれている）だけが移築保存された。

遺

12・旧横浜生糸検査所（通称キーケン・横浜第二合同庁舎）

生糸の輸出が増大するに、祖伝品が出回り始め、明治29年（1896）本町通り沿いに横浜生糸検査所が建てられたが、大震災で倒壊。大正15年（1926）新たに本町通と馬車道交差点付近に日本初の本格的鉄筋コンクリート造建築として完成。設計者は横浜銀行集会所や三井物産横浜支店を手がけた遠藤於菟（林・紋章はカイロ幼虫の蛾）。現横浜第二庁舎は平成5年（1993）地上23階・地下3階改築されたが低層階外観は、かつての生糸検査所を復元した造りとなっている。

遺

13・生糸貿易商中居屋重兵衛店跡（カイジョウヘイ）

中居屋重兵衛は群馬県嬬恋村の出身。開港時の横浜で生糸貿易の過半を越える取引を行った貿易商で、当時、此の地には「あかがね御殿」と呼ばれる豪華な店舗が有りました。

遺

14・神奈川県立歴史博物館（入館料300円／1人・団体20名以上250円／1人・身障者、65歳以上無料） 10:25〜28

1904年（明治37）旧横浜正金銀行本店として建てられた。青銅ドームが特徴。1969（昭和44）国の重要文化財に指定されている。昭和42年総合博物館として開館。かながわの歴史と文化を貴重な資料として展示し、紹介している。

常設展；相模の古代に生きた人々・都市鎌倉と中世人・近世の街道と庶民文化・横浜開港と近代化・現代の神奈川と伝統文化・コレクション展示・ミュージアムライブラリーの案内・図書・映像・他。

○特別展；

遺

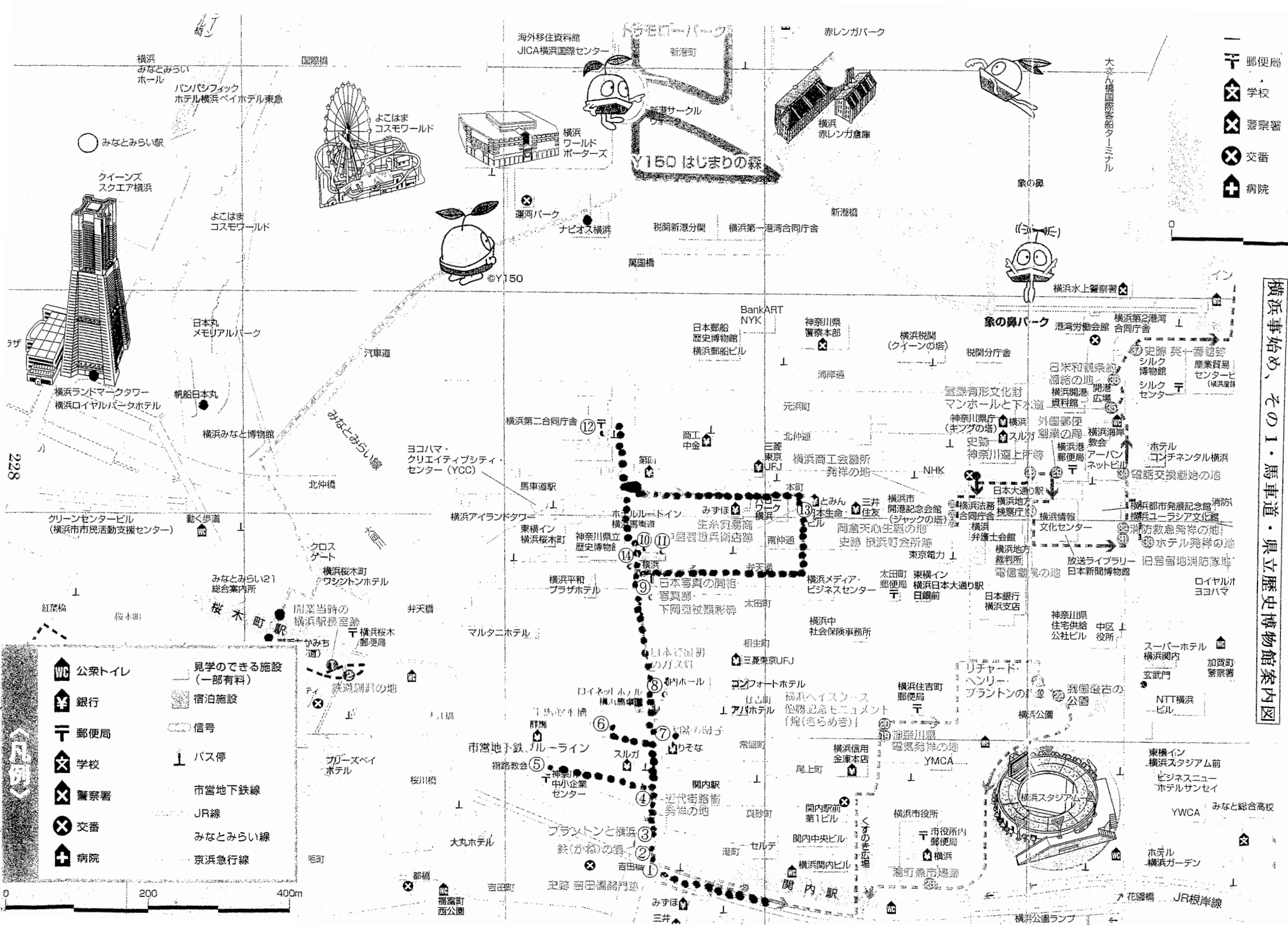
横浜青替会社設立の碑 10:32〜35

○横浜正金銀行（現神奈川県立歴史博物館・設計は妻木頼黄ヨリカ・鱗の付いたドムフィン=イロ装飾）

明治13年（1880）貿易金融、外国為替専門銀行として開業。明治37年（1904）地上3階・地下1階のネオ・バロック様式の本店が竣工。名前の正金とは、貿易通貨のことを指している。大震災では正面屋上ドームと、建物内部が焼失。昭和42年（1967）に、博物館となる際にドームが復元された。設計者は名建築家、妻木頼黄氏（赤レンガ倉庫も）。

以上

9=45
第二合同庁舎 喫茶コーナー（下見張り）
(9/6) 7 10:45〜22:55（一応解散）
（1Fアパーにて休憩）



横浜事始め、その1・馬車道・県立歴史博物館案内図